

**プラットフォームサービスに係る利用者情報の取扱いに関する
ワーキンググループ（第13回）ご説明資料**

2022年5月12日

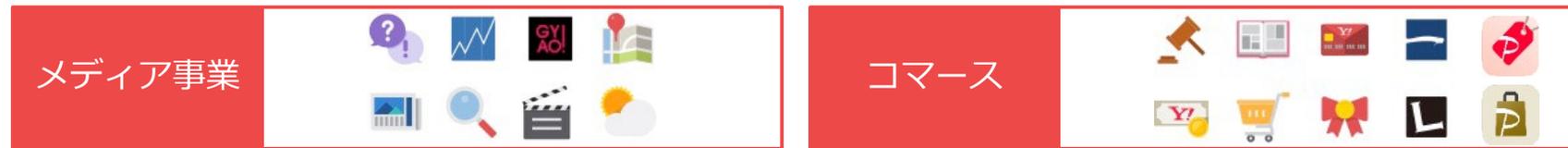
ヤフー株式会社

1. Yahoo! JAPANについて
2. 利用者情報の取扱いについて
 - ・ プライバシーセンターの説明内容
 - ・ プライバシーポリシー改定時の対応
 - ・ パーソナルデータの管理
3. 今後の取組みについて

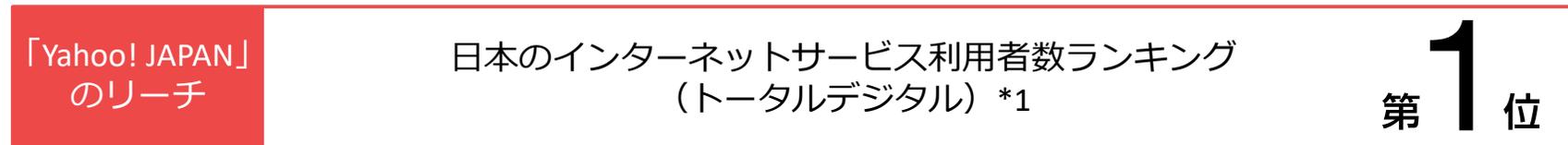
1. Yahoo! JAPANについて

多様なサービス、膨大な利用者数、マルチビッグデータを保有する
国内最大級インターネット企業

ユーザーアクションを一気通貫でおさえるサービス群



国内最大の利用者基盤



質の高いマルチビッグデータ



*1 PCとスマートフォンの重複を除いた「トータルデジタル」でのリーチ(利用者数)
出典：ニールセンデジタル(株) ニールセンデジタル コンテンツ視聴率(2021年7月)

2018年1月24日

「データの会社を目指す」

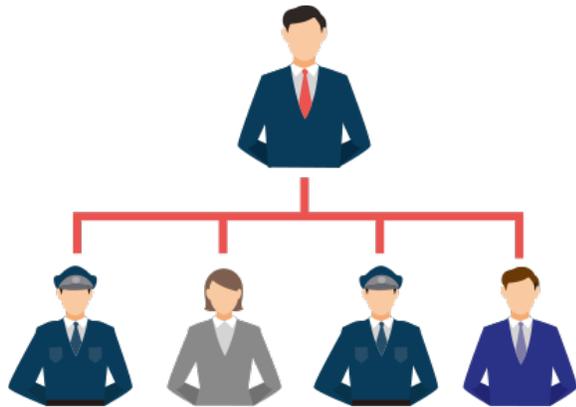




お客様のプライバシー保護が第一です

お客様がYahoo! JAPANのサービスをご利用いただくことで生まれたデータは、お客様のものであると私たちは考えています。お客様のプライバシーを尊重することはもちろんのこと、さらにそのプライバシーを守ることも、私たちの使命です。お客様のプライバシーに対する私たちの考え方について、より詳細な情報を[プライバシーセンター](#)で公開しています。また、[情報セキュリティ](#)の向上にも日々取り組んでいます。

CDO・DD体制



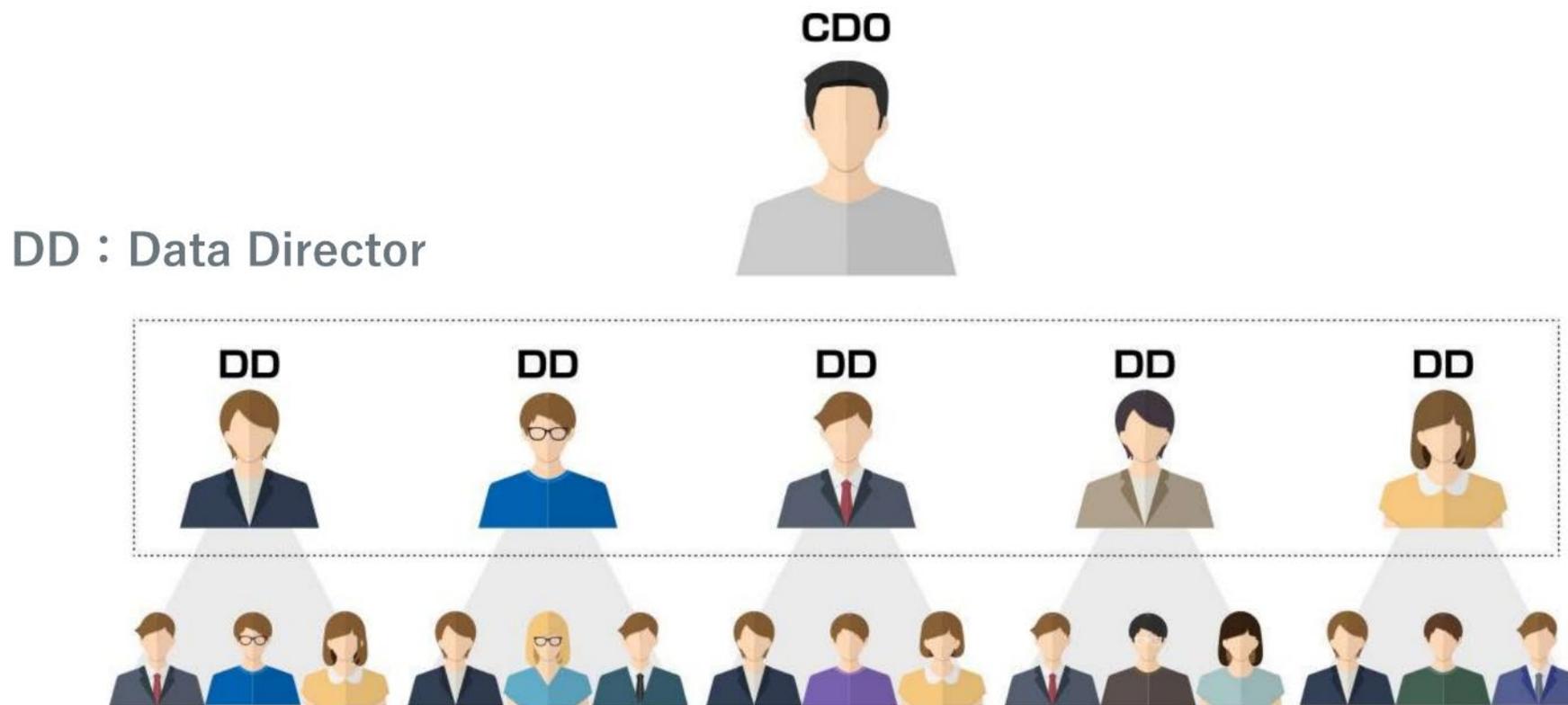
DPOの設置



アドバイザリーボード

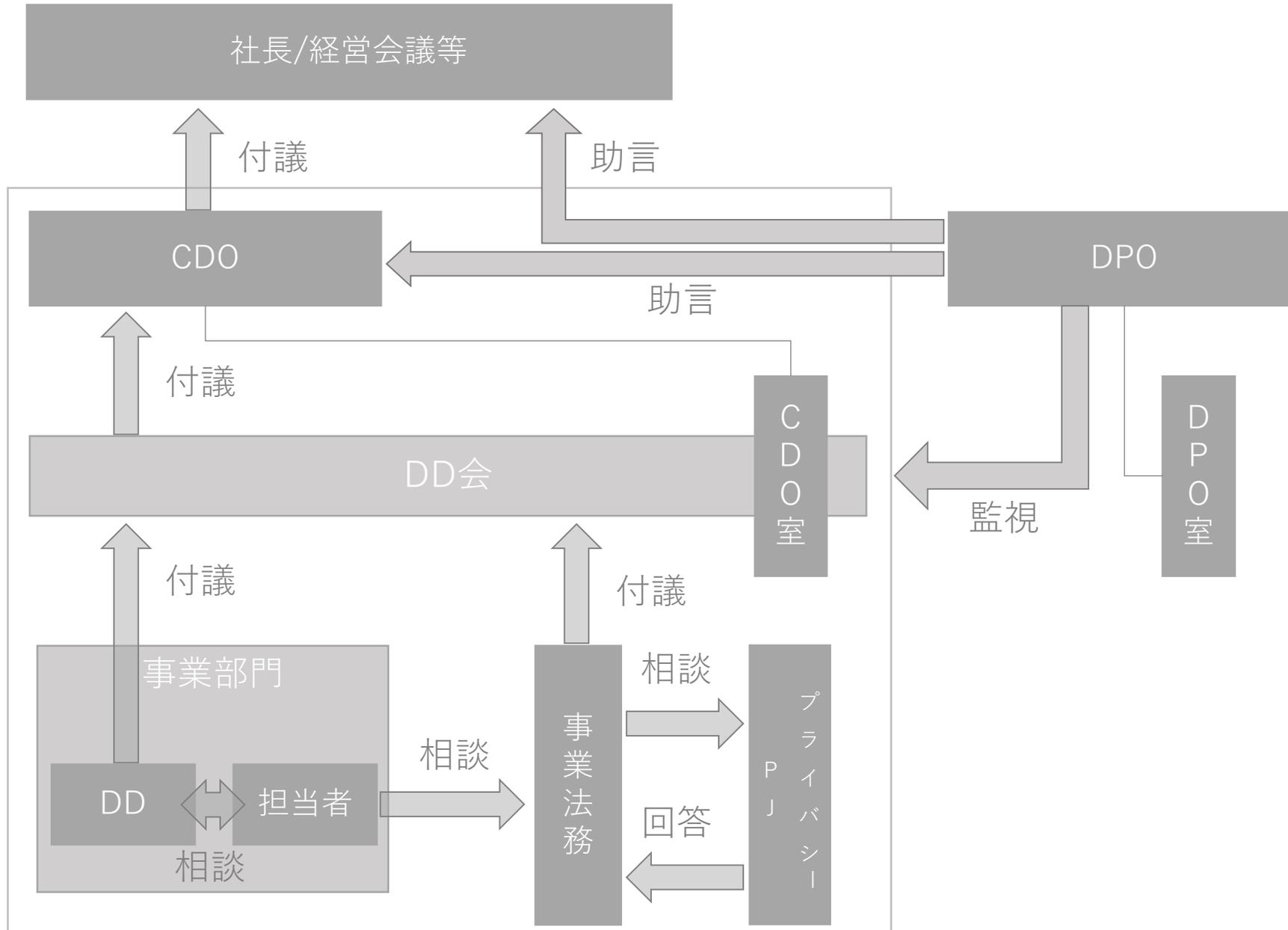


法令を遵守しプライバシーに配慮したデータの利活用を推進するために、CDO（最高データ責任者）とサービスごとのDD（データ責任者）を設置。



- データの適切な活用によって、これまで解決できなかった社会課題の解決や、より豊かな生活が実現することについて、社会の期待は高まってきている。
- この期待にいかに適切に応えていくのかが、社会の一員としてヤフーが受け入れられるか否かを決する。
- 他方人々のプライバシーの保護に対する要請は近年特に高まってきており、これへの適切な配慮が不可欠。
- DPOの設置は、これらの流れの中にあるもの。個人情報やプライバシーに関する知見を十分に有し、社内のデータの取り扱いに関する状況等を把握している者が、サービスや機能の設計の段階から、第三者的・中立的な立場で監視・助言することで、より適切なデータ利活用を実現させることを目的とする。また、これらの活動をとおしてプライバシーへの適切な配慮を企業のスタンダードとして定着させていく役割を担う。個人情報保護委員会などの監督官庁の対応窓口などの役割も担う。

(ご参考) ヤフーのデータガバナンス体制



- 1) 法令の遵守、プライバシーリスクへの十分な配慮、お客様の不当な不利益の排除
 - ・ 関連法令を確実に遵守することが、まずはスタートライン。
 - ・ 本人のプライバシーにどのような影響を与え得るのか、という観点での検討
 - ※ 通常知られたくない事実、不当な差別的取扱いにつながる情報、思想信条に関わる情報などの取り扱いはないか、人生を左右するような重大な局面におけるデータの利用でないか。
 - ・ お客様に一方向的に情報を提供させていないか、お客様にメリットがあるのか
- 2) コンテキストにあった取得と利用
- 3) 透明性、アカウントビリティの確保
 - ・ お客様が予期しないデータの取得や利用は炎上リスクと独禁法違反リスク
 - ・ データの利用方法等について、分かりやすく説明することが重要。
- 4) 本人への選択権の提供
 - ・ 本人に選択肢を提供することは強力なリスクヘッジになる。ただし、実質的に選択できる状態を担保することが必要
- 5) ガバナンス体制の構築
 - ・ **以上が組織的に担保される仕組みの構築が必要**



その仕組みの1つとして、「プライバシーに関するアドバイザリーボード」を設置

委員、アジェンダ、主なご意見と対応をプライバシーセンターで公表
※2021年からはZホールディングス株式会社の有識者会議として開催

委員（敬称略・五十音順）

- 川口 洋
（株式会社川口設計 代表取締役）
- 穴戸常寿
（座長・東京大学 大学院法学政治学研究科 教授）
- 庄司昌彦
（武蔵大学 社会学部 教授）
- 鈴木正朝
（新潟大学 大学院現代社会文化研究科 / 法学部 教授、
理化学研究所 革新知能統合研究センター 情報法制チームリーダー）
- 長田三紀
（情報通信消費者ネットワーク）
- 森 亮二
（英知法律事務所 弁護士）

第1回（2019年8月15日）

1. プライバシーポリシーの改定について

（主なご意見と対応）



グループ企業連携は個社ごとにコントロールできるようにすべき。

ご指摘への対応

個社ごとに連携のオンオフを設定できるようにすることとしました。



プライバシーポリシーの説明について、使われている用語が何を指すのかわからず、また、似た概念が登場してわかりにくい。

ご指摘への対応

記述を見直し、図などを用いてできる限りわかりやすく説明することとしました。



データ利用の目的をもっとわかりやすく記載すべき。

ご指摘への対応

プライバシーポリシーの該当部分からプライバシーセンターを参照しやすくするとともに、プライバシーセンターで丁寧に説明することとしました。

2. 利用者情報の取扱いについて

■ 内容

- ・ お客様の「パーソナルデータ」の取り扱いについて定めたポリシー

■ 背景

- ・ 情報技術（IT）の加速度的な発展とデータの利用可能性の広がり
- ・ 詳細に記述することによる分かりやすさの限界
- ・ 個人情報とそれ以外の情報の境界の不明確性

■ 主な特徴

- ・ 利用規約の一部であること
- ・ 適用範囲が個人情報だけではないこと
- ・ 分かりやすさを意識した簡潔な記述
- ・ プライバシーポリシーとプライバシーセンターがあること
- ・ 第三者提供について一定の範囲で予め同意をいただいていること

YAHOO! JAPAN

プライバシーセンター

ヤフーのプライバシーに対する取り組み

私たちYahoo! JAPANは、インターネットを通じてお客様の生活をより便利で豊かにするとともに、さまざまな社会課題を解決していきたいと考えています。

私たちがこれからもこの社会が何を考え、何を必要として考えています。

そして私たちは、こうした「データ」といいます。を含むについて、お客様や社会にこのような考えのもと、「ターゲット」としてまとめました。

パーソナライズ

個々のお客様に最適なコンテンツをはじめとするサービス等を提供する場合（おすすめの商品やサービス等を表示したり、ご案内したりする場合を含みます）に、お客様の居住地域、性別、生年月等の情報や、お客様のサービス等のご利用履歴（検索キーワード、閲覧されたウェブページ、ご利用になったアプリ、購入された商品等）を分析して、Yahoo! JAPAN独自の基準で推定したお客様の興味関心に関する情報を利用していただきます。たとえば、Yahoo!ニュースでは過去に閲覧したニュース記事等を分析して関心が高いと推定される記事を表示し、Yahoo!ショッピングでは商品の閲覧履歴や購入履歴等を分析しておすすめ商品情報を表示します。

サービス等の改善・新たなサービス等の検討

お客様が、どのような場所から、どのようにサービス等をご利用になったのかという情報をもとにお客様のサービス等に対するニーズを分析して、サービス等の改善や新たなサービス等の検討をするために、お客様の居住地域、性別、生年月等の情報や、お客様のサービス等のご利用履歴（検索キーワード、閲覧されたウェブページ、ご利用になったアプリ、購入された商品等）を利用していただきます。

広告の表示

個々のお客様のニーズに即した、より適切な広告が表示されるように、お客様の居住地域、性別、生年月等の情報を利用し、また、お客様のサービス等のご利用履歴（検索キーワード、閲覧されたウェブページ、ご利用になったアプリ、購入された商品、位置情報等）や提供を受けた情報を分析してYahoo! JAPAN独自の基準で推定したお客様の興味関心に関する情報を利用していただきます。

お客様のサービス等のご利用履歴は、連続的の環境（端末、アプリ、ブラウザ等）の情報を活用する場合があります。

- 幅広くデータを活用しようと思えば、プライバシーポリシーによるコミュニケーションは基本的に困難。
- コンテキストに沿ったデータの取得と利用が第一。お客様が予期しにくい利用等については事前の丁寧な説明が不可欠。
- 「お客様の便利のために」というのは大きなおせっかいの場合も多い。できるだけ本人に選択肢を提供する。
- プライバシー設定の確認をお願いする電子メールを定期的に変換する取り組みを2020年7月より開始。
- ※ 当社においては、2016年6月に、それまでのプライバシーポリシーにおいてできるだけ詳細にデータの取り扱いについて説明するという方針を改め、プライバシーポリシーにおいてはデータの取り扱いの基本的事項のみを定め、その内容の詳細を図表等を用いて説明する「プライバシーセンター」を新たに開設しました。

プライバシーセンターのリニューアル

P16

- できる限り説明を段階的に表示することで一度に表示する文量を減らし、アニメーションも交えて説明するなど、一層わかりやすく、目を通したくなるようなページを目指して、2021年9月にリニューアル。
※「プライバシーポリシー」・「プライバシーの設定」へ容易に遷移できるようにリンクを設置



プライバシーセンターの説明内容

「プライバシーセンター> パーソナルデータの取得」において説明

お客様によるサービス等の利用・閲覧に伴って自動的に送信される場合

Yahoo! JAPANは、お客様がサービス等（※）を利用・閲覧した際に送信されたパーソナルデータを取得いたします。



へ 閉じる

以下が代表的な例です。

- Yahoo! JAPANのウェブページへのアクセスに伴って送信された「[IPアドレス](#)」を取得する場合
- Yahoo! JAPANのウェブページの閲覧履歴を取得する場合
- Yahoo! JAPANの検索機能を利用する際に入力された検索キーワードを取得する場合
- Yahoo! JAPANのショッピングサービスでの購買履歴を取得する場合
- 「Yahoo!防災速報」「Yahoo!天気」「Yahoo! MAP」などをインストールされている端末に対して、所在地に応じた災害情報などをお知らせするために、端末の位置情報を取得する場合（お客様がご利用の端末の設定で、Yahoo! JAPANに位置情報を送信するための設定が有効になっている場合に限ります）

パーソナルデータの利用目的

P19

プライバシーポリシーにて明示し、プライバシーセンターで具体的な利用例を各利用目的に対して補記

01

最適な情報をお届けするため

たとえば、性別や生年月、ご購入履歴から、おすすめ商品やニュース記事のご紹介など、お客様におすすめの情報をお届けします。



04

お知らせ・ご案内のため

現在ご利用のサービスに関するお知らせや、より便利なサービスをご案内するために、メールアドレスなどの連絡先情報を利用します。



07

利用状況を調査・分析するため

サービスの利用者数や、広告の閲覧数などを調査・分析するため、ご利用履歴を参照します。研究機関に情報を提供することもあります。



02

お問い合わせに対応するため

お客様からのお問い合わせに対応する際、サービスのご利用履歴や過去のお問い合わせ履歴、登録情報などを参照して的確に回答します。



05

サービスを安全に提供するため

利用規約違反や詐欺、不正アクセスなどの犯罪行為や不正行為の防止・検出のために、お客様の登録情報やご利用履歴を利用します。



03

商品の配送やポイント付与のため

ご購入された商品やご利用金額、住所、氏名などを参照し、商品の配送や代金の請求、ポイントの付与などを行います。



06

サービスの改善や立ち上げのため

過去のご利用履歴やご利用場所などを参考に、お客様のニーズを分析し、現在のサービスを見直したり、新サービスを検討したりします。



パーソナルデータの具体的な活用例を説明

認証

ログインの際に、同じお客様からのログインかどうかを確認するため、Yahoo! JAPAN ID、パスワードその他のお客様の登録情報を利用させていただきます。



[詳しく見る](#)

入力補助など

商品を購入される際などに必要なお客様の情報の入力、送信を簡単に行っていただけるように、自動的に入力画面に表示させたり、送信用の情報を生成したり、お客様がご利用になろうとするサービス等の提供者に転送して登録したりする場合には、お客様の登録情報を利用させていただきます。



パーソナライズ

個々のお客様に最適なサービス等を提供する場合に、Yahoo! JAPAN独自の基準で推定したお客様の興味関心に関する情報を利用させていただきます。



[詳しく見る](#)

本人確認

本人確認が必要な一部のサービス等をご利用いただく場合や、お客様からのお問い合わせを受けお客様の本人確認を行う場合に、氏名、生年月日、住所、電話番号、銀行口座番号、クレジットカード番号、運転免許証番号、配達証明付き郵便の到達結果などの情報を利用させていただきます。



サービス等の改善・新たなサービス等の検討

お客様のサービス等に対するニーズを分析して、サービス等の改善や新たなサービス等の検討をするために、お客様の居住地域、性別、生年月日などの情報や、お客様のサービス等のご利用履歴（検索キーワード、閲覧されたウェブページ、ご利用になったアプリ、購入された商品など）を利用させていただきます。



お問い合わせ対応

お客様からのお問い合わせに対応する場合に、お客様についての情報やサービス等のご利用状況などを利用させていただきます。



パートナーが提供するサービス等に関するお問い合わせいただいた場合などにおいては、お客様についての情報やサービス等のご利用状況などをパートナーに提供させていただきます。

広告の表示

個々のお客様のニーズに即した、より適切な広告が表示されるように、お客様の居住地域、性別、生年月日などの情報を利用し、また、お客様のサービス等のご利用履歴や提供を受けた情報を分析して、Yahoo! JAPAN独自の基準で推定したお客様の興味関心に関する情報を利用させていただきます。



[Yahoo! JAPANが配信する広告などへのパーソナルデータの利用](#)
[広告サービス品質向上のための取り組み](#) [広告設定](#)

代金請求

有料サービスをご利用のお客様に代金を請求する場合に、購入された商品名や数量、利用されたサービスの種類や期間、回数、ご利用金額や、氏名、住所、銀行口座番号やクレジットカード番号などの情報（登録情報を含みます）を利用させていただきます。



具体的な活用例として広告の表示のための利用について説明

広告の表示

個々のお客様のニーズに即した、より適切な広告が表示されるように、お客様の居住地、性別、生年月などの情報を利用し、また、お客様のサービス等のご利用履歴や提供を受けた情報を分析して、Yahoo! JAPAN独自の基準で推定したお客様の興味関心に関する情報を利用させていただきます。



- [🔗 Yahoo! JAPANが配信する広告などへのパーソナルデータの利用](#)
- [🔗 広告サービス品質向上のための取り組み](#) [🔗 広告設定](#)

へ 閉じる

お客様のサービス等のご利用履歴には、検索キーワード、閲覧されたウェブページ、ご利用になったアプリ、購入された商品、位置情報などが含まれます。また、複数の環境（端末、アプリ、ブラウザなど）の情報を利用する場合があります。

➤ 行動履歴による広告内容の最適化オン/オフは「広告設定」から変更が可能

Yahoo! JAPANが配信する広告などへのパーソナルデータの利用について説明

パーソナルデータの利用方法

Yahoo! JAPANは、お客様により適切な広告を表示するために、お客様から取得した以下のようなパーソナルデータを利用して広告などを配信しています。

- Yahoo! JAPAN IDの登録情報
（生年月、性別など）
- 広告配信時に取得する情報
（時間帯、おおまかな現在地、広告が表示されるページ、広告表示時に検索していたキーワードなど）
- 広告配信前に取得した過去の履歴（※）
 - ①Yahoo! JAPANサービスの利用履歴
（過去に検索したキーワード、閲覧したウェブページや広告、利用したアプリ、購入した商品、利用時間帯、地域、デバイスなど）
 - ②広告主やパートナーサイトの利用履歴

※法令に基づく場合を除き、履歴を蓄積する期間は以下のとおりです。

- 分析し、独自の基準で興味関心別に分類する目的のために蓄積する各種履歴：最大180日間
- お客様が特定のウェブサイトを訪問された履歴に基づいて広告を配信する目的のために蓄積するページ閲覧履歴：最大2年

また、人種、宗教、性的指向、健康状態など、慎重に扱うべき個人に関するデータは利用しません。

なお、スマートフォンにおける行動履歴に基づいたYahoo! JAPANの広告配信の詳細は[こちら](#)をご参照ください。

位置情報と連動したサービス等の提供

お客様がサービス等をご利用になる端末の位置情報を取得し、サービス等の提供にあたって利用させていただく場合があります。

Yahoo!カーナビでルート案内をしたり、Yahoo! MAPでお客様の現在地を表示したりする場合に、お客様の端末の位置情報を利用させていただきます。また、お客様が現在いらっしゃる地域の災害に関する情報をタイムリーに提供する等、サービス等の提供に不可欠な場合のほか、お客様により一層快適にサービス等をご利用いただくために利用させていただきます。

[位置情報の利用](#)



- 位置情報（端末から取得可能なGPS位置情報、Wi-Fi情報、Bluetooth情報等）の取得・利用に際してはお客様の明示的な同意を取得
- 位置情報の利用のオン/オフは「位置情報の送信設定」から変更が可能
- 位置情報の具体的な活用例は「位置情報の利用」で説明

「パーソナルデータの取得＞第三者による情報の取得」で、クッキーやアプリ開発キットなどを用いてパーソナルデータを取得する企業について説明

企業名	取得項目と利用目的
Adjust	取得項目：端末情報（OSのバージョン、端末の名称など）、スマートフォン端末識別子など 利用目的：取得企業において特定の個人を識別できない状態で広告の効果測定や最適化を行うため
Apple	取得項目：ヤフーが提供するiOS向けアプリに関して、インストールなど特定の操作を行ったという情報 利用目的：広告の配信や広告の効果測定
Frosk	取得項目：端末情報（OSのバージョン、端末の名称、画面サイズなど）、クラッシュ（アプリの異常終了）発生状況（通信、メモリ、時刻など）など 利用目的：取得企業において特定の個人を識別できない状態でスマートフォンアプリのクラッシュ解析を行うため
Google	取得項目：端末情報（OSのバージョン、端末の名称など）、スマートフォン端末識別子、IPアドレス、クッキーなど 利用目的：取得企業において特定の個人を識別できない状態で広告の配信や広告の効果測定、アプリの利用状況の分析を行うため
IndoorAtlas	取得項目：端末の位置情報 利用目的：屋内の現在地情報の表示、IndoorAtlasのサービス改善
Mapbox	取得項目：端末の位置情報 利用目的：地図の改善、渋滞情報の提供
Mapbox (Yahoo! MAPのみ)	取得項目：広告表示・操作情報（広告の表示回数・時間、広告に対する操作内容など） 利用目的：取得企業において特定の個人を識別できない状態で広告の配信や広告の効果測定、広告プロダクトの改善を行うため

プライバシーポリシー改定時の対応

改定内容を、サマリ・FAQ・新旧改定表を用いて分かりやすさを意識して説明

2022年2月
ヤフー株式会社

プライバシーポリシー改定のお知らせ

いつもYahoo! JAPANをご利用いただきありがとうございます。

2022年2月28日に、プライバシーポリシーの改定を行いますのでお知らせいたします。

この改定は、お客様のデータの取り扱いに関するお約束であるプライバシーポリシーの内容を、より明確化するためのものです。お客様に新たにご対応いただくことはございません。

改定内容

1. 個人関連情報の取扱いに関する説明の追加

パートナー企業から受領する個人関連情報に関して、情報の項目や取扱いについての説明を追加します。
※個人関連情報の取得・利用に関して、個人情報の保護に関する法律（以下「個人情報保護法」といいます）によりお客様等の同意が必要な場合には、個人情報保護法および関連するガイドラインに従った態様（ウェブサイト上のボタンのクリックを求める方法等）で本プライバシーポリシーに同意いただいた場合のみ、取得・利用します。本周知をもってお客様の同意とみなすものではありません。

2. 安全管理措置の具体的な内容説明を追加

お客様のデータを適切に取り扱うための措置（安全管理措置）の具体的な内容説明を追加します。

3. 口コミ等の公開情報の取扱いの明確化

電子掲示板などの不特定または多数のお客様がアクセス可能なサービスに投稿された口コミ、レビュー等の情報の取扱いについて、これまで「Yahoo! JAPAN利用規約」の「第1章 総則」にてご説明しておりましたが、プライバシーポリシーでも重ねてご説明することで明確化します。

4. 従来の規定の明確化

パーソナルデータの提供同意に関する従来の規定を明確化するための説明を追加します。

5. お問い合わせ窓口に関する説明追加

プライバシーポリシーに関するご質問、ご相談、その他のお問い合わせをいただく際の窓口についての説明を追加します。

よくあるご質問

- Q. プライバシーポリシー改定で何が変わるのですか？
- Q. 何をする必要がありますか？
- Q. なぜ今回、個人関連情報の取り扱いを明示したのですか？
- Q. パートナー企業から受領する個人関連情報を、具体的にどんな用途に利用しますか？

プライバシーポリシーの変更箇所

（下線部が改定部分）

改定後	現行
<p>当社は、お客様、取引先をはじめとした皆さま（以下本章で「お客様等」といいます）のプライバシーに関連する情報の重要性を認識し、その情報を正確かつ誠実に取り扱うための基本方針（プライバシーポリシー）を以下に定め、厳正に管理いたします。</p> <p>注：本プライバシーポリシーに基づき、当社がプライバシーに関連する情報を具体的にどのように取り扱うかについては、Yahoo! JAPANプライバシーセンターをご参照ください。</p> <p>本プライバシーポリシーは、当社が取り扱う、個人としてのお客様等を直接的または間接的に識別できるすべての情報（以下「パーソナルデータ」といいます）について適用されます。</p>	<p>当社がお客様、取引先をはじめとした皆さま（以下本章で「お客様等」といいます）のプライバシーに関連する情報を取り扱う際の基本方針（プライバシーポリシー）は、以下のとおりです。</p> <p>注：本プライバシーポリシーに基づき、当社がプライバシーに関連する情報を具体的にどのように取り扱うかについては、Yahoo! JAPANプライバシーセンターをご参照ください。</p> <p>本プライバシーポリシーは、当社が取り扱う、個人としてのお客様等を直接的または間接的に識別できるすべての情報（以下「パーソナルデータ」といいます）について適用されます。</p>

プライバシーポリシーの改定履歴から過去のプライバシーポリシーに遷移可能

当社がパーソナルデータの取り扱いを第三者に委託する場合は、当社が定める委託先選



企業情報

ニュース

サービス

テクノロジー

CSR

採用情報



にのみパーソナルデータを提供します。

2. パーソナルデータの漏えい等の事故が発生した場合、当社は、個人情報保護法および関連するガイドラインに則り、監督官庁への報告を行うとともに、当該監督官庁の指示に従い、類似事案の発生防止措置および再発防止措置等の必要な対応を行います。

[\(2009年12月1日改定\)](#)

[\(2011年7月29日改定\)](#)

[\(2012年9月5日改定\)](#)

[\(2012年11月1日改定\)](#)

[\(2013年1月7日改定\)](#)

[\(2013年4月2日改定\)](#)

[\(2013年6月28日改定\)](#)

[\(2013年9月2日改定\)](#)

[\(2014年6月2日改定\)](#)

[\(2015年7月27日改定\)](#)

[\(2016年6月23日改定\)](#)

[\(2019年10月1日改定\)](#)

[\(2022年2月28日改定\)](#)

企業情報 > 利用規約 第1編 基本ガイドライン > 改定履歴

改定履歴 2009年12月1日改定

第2章 プライバシーポリシー

当社のプライバシーに関する方針は、以下のとおりです。また、子どもたちのプライバシー保護に関する当社の考え方については、[こちら](#)もご覧ください。

プライバシー情報のうち「個人情報」とは、個人情報保護法にいう「個人情報」を指すものとし、生存する個人に関する情報であって、当該情報に含まれる氏名、生年月日、住所、電話番号、連絡先その他の記述等により特定の個人を識別できる情報を指します。

プライバシー情報のうち「履歴情報および特性情報」とは、上記に定める「個人情報」以外のものをいい、ご利用いただいたサービスやご購入いただいた商品、ご覧になったページや広告の履歴、お客様の検索履歴、お問い合わせ履歴、ご利用日時、ご利用方法、ご利用環境、郵便番号

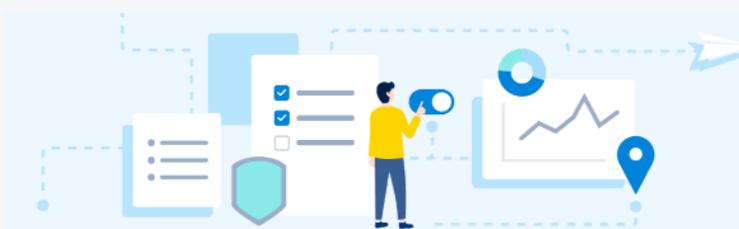
パーソナルデータの管理

パーソナルデータに関するオプトアウト設定

P29

「Yahoo! JAPAN トップページ> 登録情報> プライバシー・メール配信」から、
広告の最適化設定・位置情報の送信設定・第三者へのデータ連携設定等が可能

[トップ](#) [登録情報の編集](#) [ログインとセキュリティ](#) [プライバシー・メール配信](#) [パーソナルデータの管理](#)



設定をカスタマイズしていただくことで、
あなたに最適なコンテンツをお届けします。

<h3>広告の最適化設定</h3> <p>表示される広告の内容を、お客様の興味関心に合わせて最適化する設定ができます。</p> <p>設定する</p>	<h3>メール設定</h3> <p>Yahoo!からお客様にお届けするメールの配信設定や、Yahoo!メールの便利機能や広告最適化の設定ができます。</p> <p>設定する</p>
<h3>位置情報の送信設定</h3> <p>お客様のYahoo! JAPAN IDに紐づく、アプリからの位置情報の送信・蓄積についての設定ができます。</p> <p>設定する</p>	<h3>各アプリケーションでのデータ利用</h3> <p>アプリケーションやサービス上での情報やデータ利用の設定ができます。</p> <p>設定する</p>
<h3>グループ企業へのデータ連携設定</h3> <p>グループ企業へ情報やデータを連携する設定ができます。</p>	<h3>外部企業へのデータ提供設定</h3> <p>パーソナルデータを、外部企業に提供する設定ができます。</p>

グループ企業へのデータ連携設定

P30

一度同意した後でも、いつでも個別に連携のオン・オフの設定が可能

グループ企業へのデータ連携

お客様の設定にもとづき、現在グループ企業へのデータ連携設定は「**連携する**」に設定しています。

データ連携設定

連携する

連携しない

データ連携を行うことで、連携先企業のサービスをお使いの際に、お客様一人ひとりの好みや状況に合わせた情報提供やプランが見つかりやすくなります。

[グループ企業とのデータ連携について](#)

[ヘルプ](#)

データ連携を行うグループ企業（※1、※2）

サービス名をクリックすると各サービスのプライバシーポリシーを開きます。（外部サイト ※3）

アスクル株式会社

[ASKUL](#)、[LOHACO](#)



株式会社イーブックイニシアティブジャパン

[bookfan](#)



株式会社一休

[一休.com](#)、[一休.comレストラン](#)



株式会社カービュー



YAHOO!
JAPAN

パーソナルデータの管理ページの新設

P31

「Yahoo! JAPAN トップページ > 登録情報 > パーソナルデータの管理」から、
パーソナルデータの管理（閲覧、削除、ダウンロード）が可能

YAHOO!
JAPAN

[ヘルプ](#)

パーソナルデータの管理



Yahoo! JAPAN の各サービスで保存された
あなたのデータを管理できます。

<h3>サービス利用履歴</h3> <p>Yahoo! JAPANの各サービス利用履歴の確認ができます。</p> <p>詳細</p>	<h3>アクセス履歴</h3> <p>Yahoo! JAPAN上の広告クリック履歴の確認・削除ができます。</p> <p>詳細</p>
<h3>位置情報の履歴</h3> <p>Yahoo! JAPANに蓄積されている位置情報履歴の確認・削除ができます。</p> <p>詳細</p>	<h3>パーソナルデータのダウンロード</h3> <p>Yahoo! JAPANの各履歴や登録情報のダウンロードデータの作成・ダウンロードができます。</p> <p>詳細</p>

YAHOO!
JAPAN

サービス利用履歴の確認

P32

各サービスの登録情報、利用履歴、ログイン履歴等の確認が可能

<p>Yahoo!プレミアム 会員情報</p> <p>Yahoo!プレミアムの会員情報を確認できます。</p> <p>詳細</p>	<p>Yahoo!ショッピング 注文履歴</p> <p>Yahoo!ショッピングの注文履歴を確認できます。</p> <p>詳細</p>
<p>PayPayモール 注文履歴</p> <p>PayPayモールの注文履歴を確認できます。</p> <p>詳細</p>	<p>ヤフオク! 出品・入札・落札履歴 (マイ・オークション)</p> <p>ヤフオク!の出品・入札・落札履歴を確認できます。</p> <p>詳細</p>
<p>PayPayフリマ 購入履歴等 (マイページ)</p> <p>PayPayフリマの購入履歴等を確認できます。</p> <p>詳細</p>	<p>GYAO! 視聴履歴</p> <p>GYAO!の視聴履歴を確認できます。</p> <p>詳細</p>
<p>ログイン履歴</p> <p>Yahoo! JAPAN IDを使用したログイン履歴を確認できます。</p> <p>詳細</p>	<p>Yahoo! JAPAN ID 登録情報</p> <p>Yahoo! JAPAN IDの登録情報を確認・変更できます。</p> <p>詳細</p>

過去1年分の位置情報履歴の確認・削除が可能

位置情報の履歴

過去1年分の位置情報履歴を確認・削除できます。

履歴を確認したい日付のピンマーク📍をクリックすると、地図上に位置情報が表示されます。

ダウンロードしたい場合は、[こちら](#)からダウンロードしてください。

※[位置情報の送信設定](#)で「送信・蓄積する」に設定すると、位置情報の履歴が表示されます。また、「送信・蓄積しない」を設定すると、履歴は表示されません。

※蓄積された履歴が閲覧可能になるまで最大5日間かかります。



The screenshot displays the location history interface. On the left, there is a list of dates with checkboxes and a trash icon for deletion. The dates listed are 2022/05/01, 2022/04/30, 2022/04/29, 2022/04/28, 2022/04/27, and 2022/04/26. On the right, a map shows the region of East Asia, including parts of China, North Korea, and Japan. Several cities are marked with location pins: ハルビン市 (Harbin), 長春市 (Changchun), 瀋陽市 (Shenyang), 平壤市 (Pyongyang), ソウル (Seoul), 大韓民国 (South Korea), 札幌 (Sapporo), 仙台 (Sendai), 大阪 (Osaka), and 福岡 (Fukuoka). The map also shows the labels for 朝鮮民主主義人民共和国 (North Korea) and 日本 (Japan). A vertical scroll bar is visible between the list and the map.

サイト閲覧履歴、検索履歴、広告クリック履歴の確認・削除が可能

アクセス履歴

サイト閲覧履歴

サイト閲覧履歴を閲覧・削除できます。

[詳細](#)

検索履歴

検索履歴を閲覧・削除できます。

[詳細](#)

広告クリック履歴

広告クリック（一部の動画広告の再生を含む）履歴を確認・削除できます。

[詳細](#)

過去1年分の履歴データ、過去30日分の第三者提供記録のダウンロードが可能

パーソナルデータのダウンロード

サービスの履歴 [第三者提供記録](#) [ダウンロードデータの一覧](#)

過去1年間分の履歴データをダウンロードすることができます。
ダウンロードするデータを選択し、ダウンロードデータを作成してください。
データ作成完了後、[こちら](#)に登録されているメインメールアドレスへ通知します。
※データ作成には数日かかることがあります。[ヘルプ](#)
※作成できるダウンロードデータは、データ作成中・作成完了を含め最大30件です。

履歴データ

ダウンロードデータを作成

 Yahoo!ウォレット 利用明細

 Yahoo!ウォレット 登録情報

 Tポイントの月次利用状況

 会員情報(プレミアム会員・PayPayカード・Tポイント通帳)

 Yahoo!ショッピング/PayPayモールの購買履歴

 ヤフオク!/PayPayフリマの出品・入札・落札履歴

 Yahoo! JAPAN ID 登録情報

今後の取組みについて

- 個人情報、プライバシー保護に対する社会の期待の高まり
- 1つのプログラムの不具合が膨大なデータの漏えいを生じさせる可能性
- 事前の十分なプライバシーへの配慮が足りないことによるお客様や社会に受け入れられないサービスの提供の可能性

当社において最近発生した事故

プレスリリース 2020.08.06 シェア 300 ツイート 61

Yahoo! JAPAN IDの登録情報システム不具合に関するお詫びと不具合解消に関するお知らせ

このたび、当社の各種サービスで使用するYahoo! JAPAN ID（以下、ID）の登録情報システムに不具合が発生し、一部の方のID登録情報（氏名・住所・電話番号など）が、他のID登録情報（最大約39万ID）に誤って反映されたことが判明しました。

本件の概要につきまして、下記のとおりご報告いたしますとともに、ID保有者をはじめとする関係者の皆様に、多大なるご迷惑およびご心配をおかけしますことを、深くお詫び申し上げます。

なお、ID登録情報が誤って上書きされた方には順次個別にメールにてご連絡をさせていただくとともに、ID登録情報の再入力をお願いしています。また、誤って上書きされた情報の削除はすでに完了しております。

Yahoo!スコアの終了のお知らせ

プレスリリース 2020.06.29 シェア 301 ツイート 0

「Yahoo!スコア」終了のお知らせ

2019年6月にビジネスソリューションサービスの提供開始を発表した「Yahoo!スコア」は、2020年8月31日をもって終了いたします。

2019年6月の発表以降、お客様の声や外部有識者のご意見などをもとに、2019年10月から初期設定では「スコアが作成されない」仕様に変更するとともに、「Yahoo!スコア」のあり方について抜本的な見直しを検討してまいりました。また並行して、お客様ご自身のスコアや受けられる特典等をご確認いただける機能および各種特典等の検討・準備を進めてまいりました。

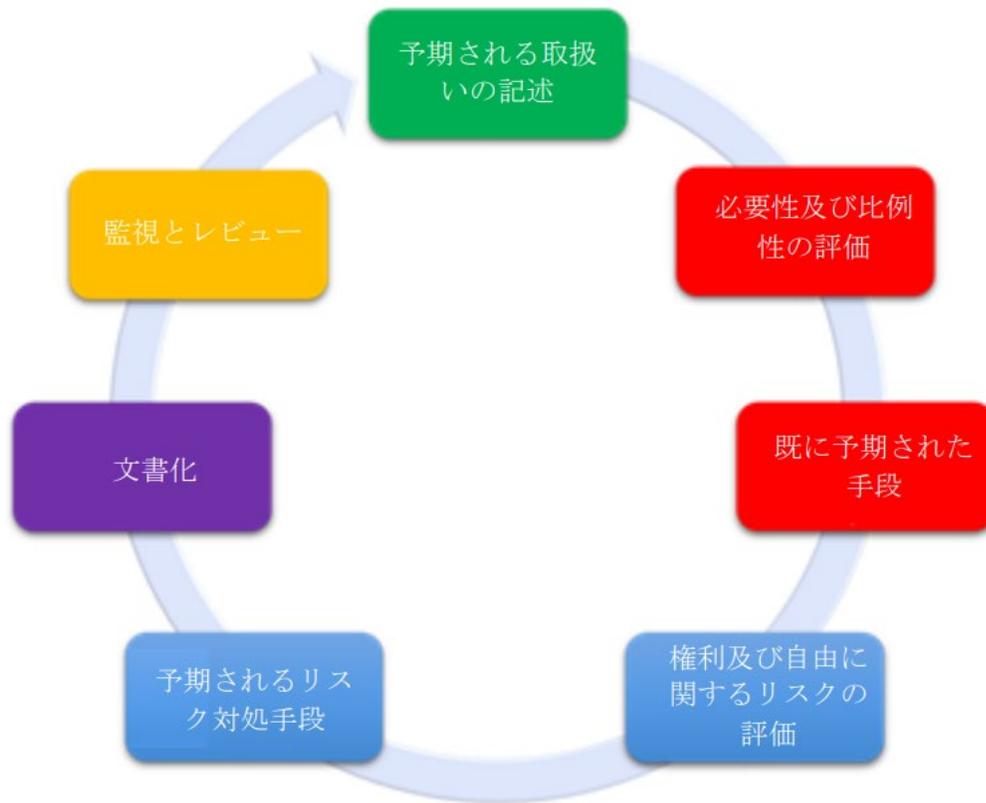
当社がお客様や社会からの当然の期待に応え、信頼を得て引き続きサービス提供できるよう、PIAを導入する。

PIAの具体的な実施内容は、その運用を通じて常に、継続的に改善していくことを前提とする。

PIAの目的

- GDPR上のDPIAの対象：「自然人の権利及び自由に高いリスクをもたらすことが予想される場合」
- GDPR上のDPIAの目的：GDPRへの確実な準拠
- ヤフーにおいては、ヤフーのサービスおよびシステムが、個人情報情報の漏えい等を招く不具合がないか十分に検証され、本人のプライバシーへの影響が事前に適切かつ十分に配慮されたものとなることを担保することを目的として実施する。
- 当社の社内規程に規定し、確実な実施を担保
※DPO部門に窓口を設置、広く社内の開発/企画案件に係る相談を受けつける。

PIAの実施手法



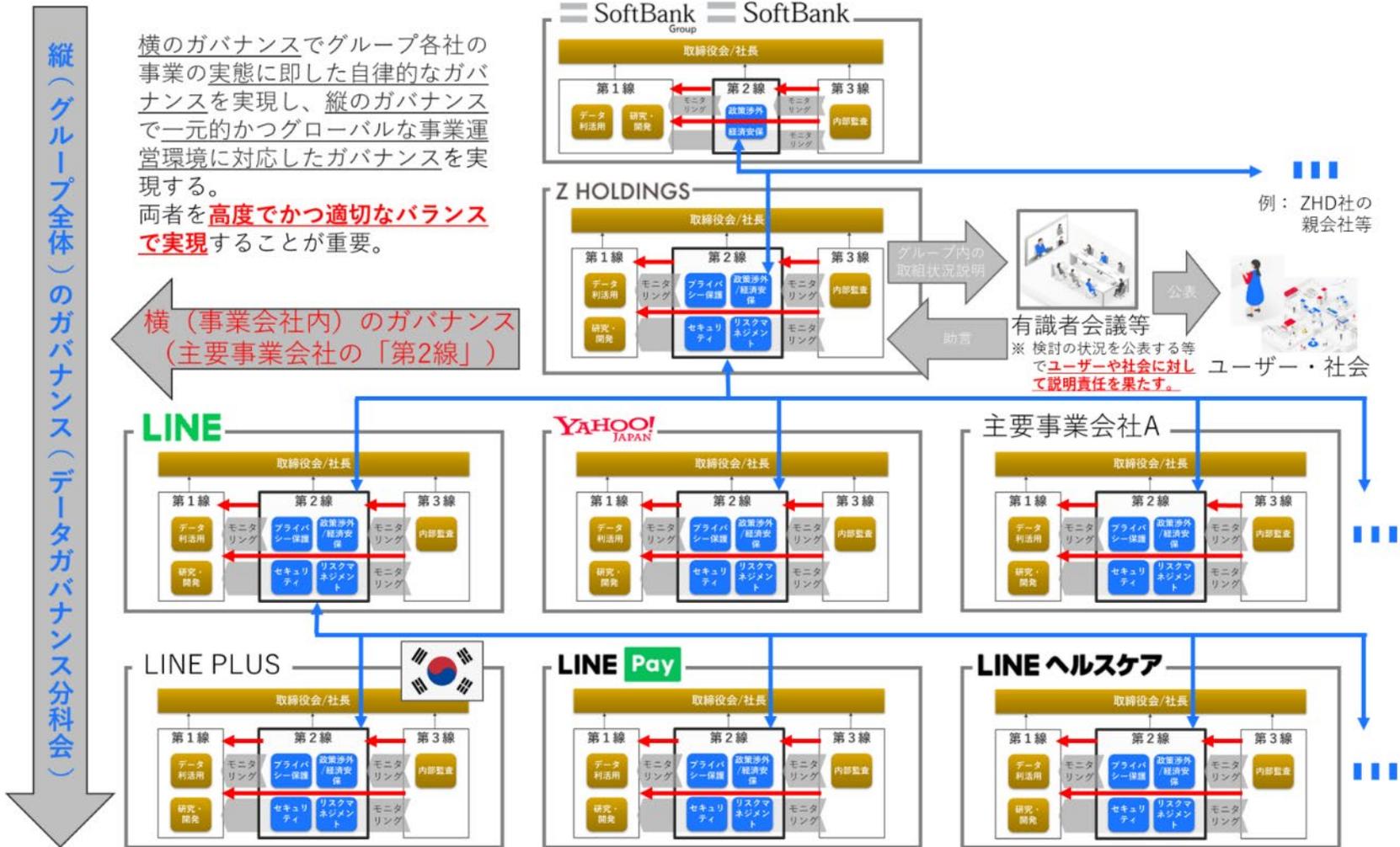
以下をそれぞれの主体が文書化する。

- ①当該サービスまたはシステムが実現しようとする事項およびそれを実現する目的と具体的方法の特定
→当該サービスの責任者、システムの開発責任者
- ②当該目的の必要性と予期されるリスクとのバランスに関する評価
→当該サービスの責任者、システムの開発責任者
- ③予期されるリスクへの対処
→当該サービスの責任者、システムの開発責任者
- ④専門部門による影響評価
→法務部門、セキュリティ部門
- ⑤予期される影響への対処と評価
→全部門
- ⑥監視とレビュー
→DPO部門

※ PIA実施中に前提となる①に変更があった場合は①からやり直す。また、既存のサービスやシステムに関しても、情勢の変化等に応じてPIAを実施すべき場合がある。

複眼的監督体制：横と縦のガバナンスの強化・ベストミックス

P9



出典：https://www.z-holdings.co.jp/notice/20211018

ヤフー、CBPRシステム（APEC 越境プライバシールールシステム）の認証を取得

～ 国際的なデータ保護の基準を満たし、
ユーザーが安心してサービスを利用できる環境を構築 ～

ヤフー株式会社（以下、Yahoo! JAPAN）は本日、「CBPRシステム」（Cross Border Privacy Rules/APEC越境プライバシールールシステム。以下、CBPR）の認証を取得しました。

「CBPR」とは、アジア太平洋経済協力会議（APEC）が2011年に策定した、APEC域内（※1）で国境を越えて移転するデータを適切に保護するルールである「APECプライバシー原則」に、企業などが適合しているかを国際的に認証する制度です。

※1：「CBPR」の参加国は、日本、米国、シンガポール、台湾、韓国、カナダ、フィリピン、メキシコ、オーストラリアの9か国。



UPDATE **JAPAN**

情報技術のチカラで、日本をもっと便利に。